

Ⅲ 幼児の保護者対象調査の結果

1. 対象者と子どもの属性

1-1 性別年齢構成

男 性	人数	%	女 性	人数	%
18～29 歳	0	0.0	18～29 歳	6	3.5
30～39 歳	22	71.0	30～39 歳	113	65.3
40～49 歳	6	19.4	40～49 歳	51	29.5
50～59 歳	3	9.7	50 歳以上	3	1.7
計	31	100.1	計	173	100

性別不明 2 名

1-2 子どもの年齢構成

年齢	人数	%
3 歳	47	22.8
4 歳	53	25.7
5 歳	52	25.2
6 歳	54	26.2
計	206	99.9

性別不明 7 名

1-3 子どもの就園状況

所属	人数	%
保育園	93	45.1
幼稚園	82	39.8
認定こども園	25	12.1
通っていない	6	2.9
その他	0	0.0
計	206	99.9

1-4 職業

職 業	人数	%
会社員・団体職員	66	32.0
公務員	31	15.0
自営業（農林漁業除く）	14	6.8
農林漁業	0	0.0
学生	0	0.0
パート・アルバイト	50	24.3
家事専業	41	19.9
無職	1	0.5
その他	3	1.5
計	206	100

1-5 居住地区

居住地区	人数	%
福間南小学校区	69	33.5
福間小学校区	68	33.0
神興小学校区	12	5.8
神興東小学校区	16	7.8
上西郷小学校区	6	2.9
津屋崎小学校区	34	16.5
勝浦小学校区	1	0.5
計	206	100

1-6 同居家族（対象児の他）※複数回答

同居者	人数	%
配偶者	194	94.2
親（三世代同居）	11	5.3
こども（未就学児）	81	39.3
こども（小・中学生）	95	46.1
こども（16 歳以上）	5	2.4

同居者	人数	%
いない	1	0.5
その他	1	0.5

2. 子どもの食生活について

問 1. お子さんは、毎日朝食を食べますか。(SA)

子どもの朝食摂取状況について、「毎日食べる」と回答した人の割合は 95.1%であり、前回調査からは 0.2 ポイントの増加があった。

<単数回答>

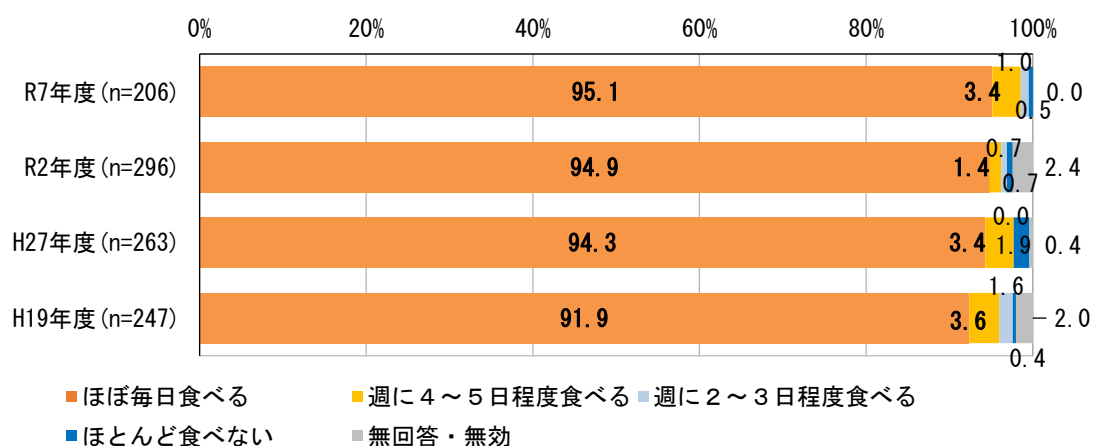


図 38 子どもの朝食摂取頻度 結果推移

(問 1 で「毎日食べる」以外を選んだ人に)

問 1-1 朝食を食べない最も大きな理由は何ですか。(SA)

朝食を食べない理由として最も多かったのは「食欲がない」(4 人)であった。「以前から食べる習慣がない」(2 名)、「その他」(2 名)は、嫌いなものが出されると食べなくなるという回答であった。

<単数回答>

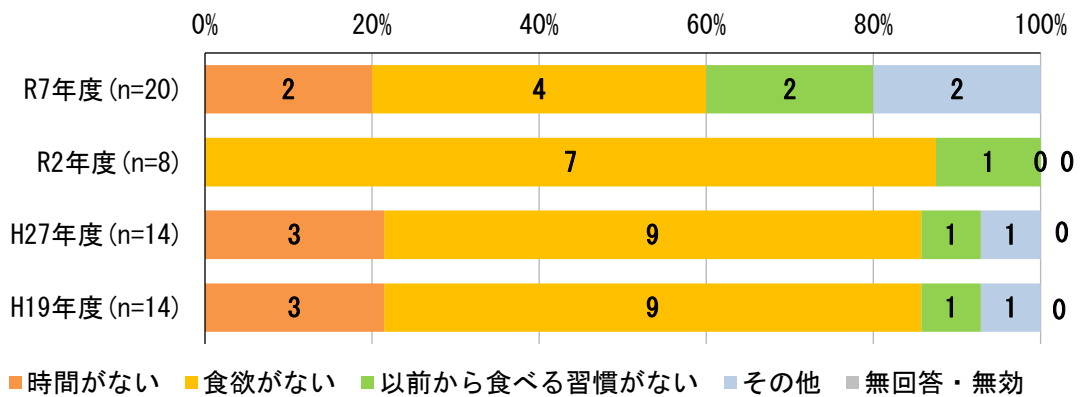


図 39 子どもが朝食を食べない理由 結果推移
(グラフ内の数値は人数)

問 2. お子さんはどのくらいの頻度で家族と一緒に食事をしますか。

朝食または夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数*は、一週間あたり 13.1 回（朝食 6.5 回、夕食 6.8 回の合計）であった。

*共食の回数は、「ほとんど毎日食べる」を週 7 回、「週に 4~5 日食べる」を 4.5 回、「週に 2~3 回食べる」を 2.5 回、「ほとんど食べない」を 1 回とし、それぞれ朝食・夕食ごとに、該当人数を掛け、合計したものを全体数で割り、朝食と夕食の回数を足して週当たりの回数を出している。

■ 朝食 (SA)

朝食では家族と一緒に「ほぼ毎日食べる」と回答した人の割合は 87.9%であり、前回調査から 5.1 ポイント増加した。

<単数回答>

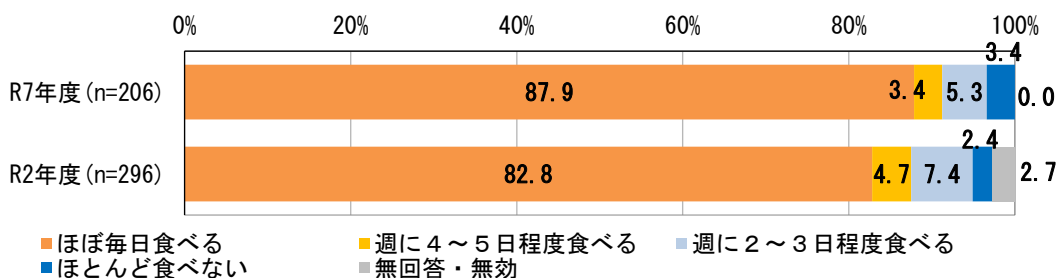


図 40 朝食と一緒に食べる家族 結果推移

■夕食（SA）

夕食では、家族と一緒に「ほぼ毎日食べる」と回答した人の割合は96.6%で、前回調査から3.4ポイント増加した。

<単数回答>

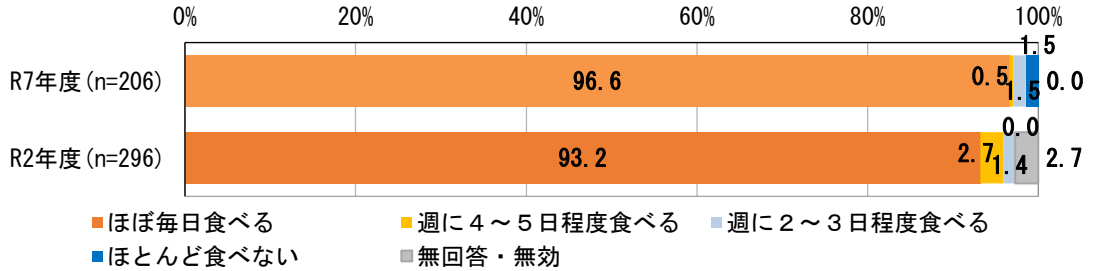


図 41 夕食を一緒に食べる家族 結果推移

問 3. お子さんの食事の時間は決めていますか。（SA）

子どもの食事時間については、「決めている」、「決めていないがだいたい同じ時間」と回答した人を合わせると 96.6%であり、前回調査時から変化はほとんどなかった。

<単数回答>

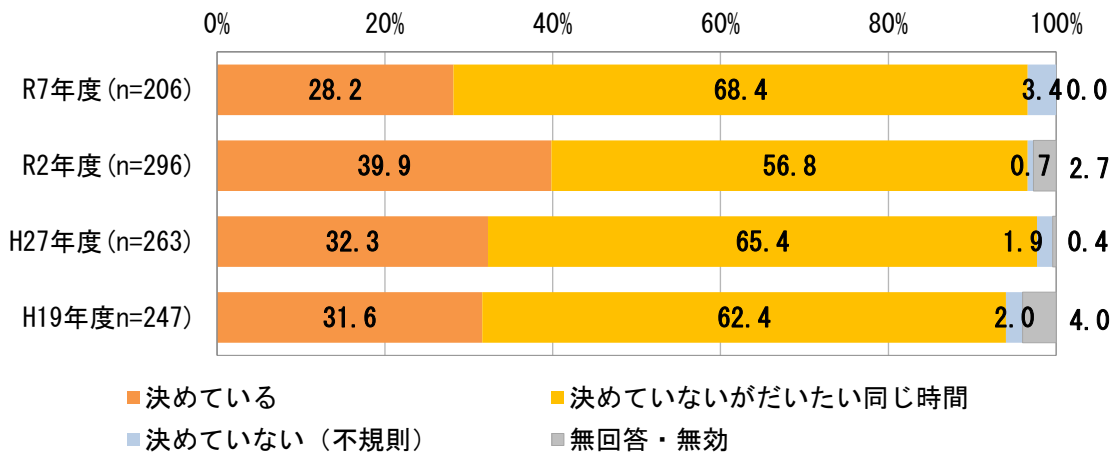


図 42 食事の時間はきめているか 結果推移

問 4. お子さんは、食事を楽しみにしていますか。(SA)

子どもが「食事を楽しみにしている」と回答した人の割合は 79.1%であり、前回調査から 0.7 ポイント増加したが、大きな変動はない。

<単数回答>

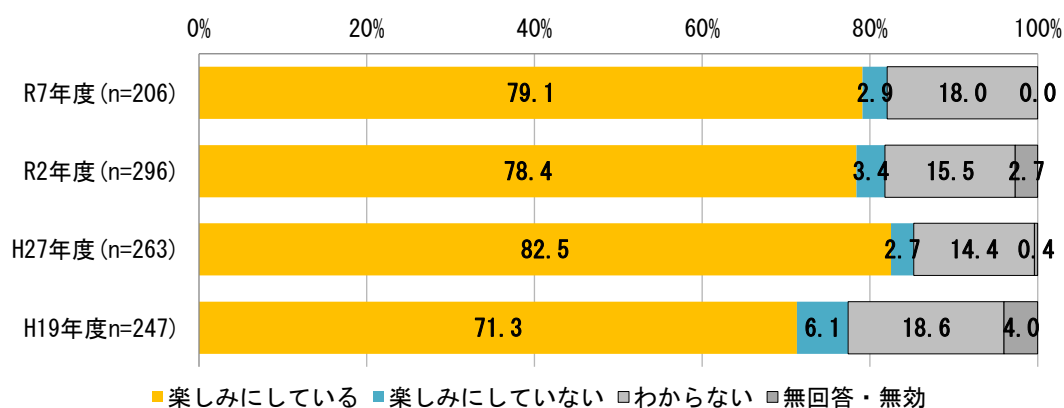


図 43 食事を楽しみにしているか 結果推移

問 5. お子さんは、食事の際に「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしていますか。(SA)

令和 7 年度において、食事の際の挨拶を「必ずしている」と回答した人の割合が前回調査に比べて 1.2%低下した。「必ずしている」と「よくしている」を合わせた割合は 82%で、前回調査の 84.5%よりも 2.5%ポイント減少した。

<単数回答>

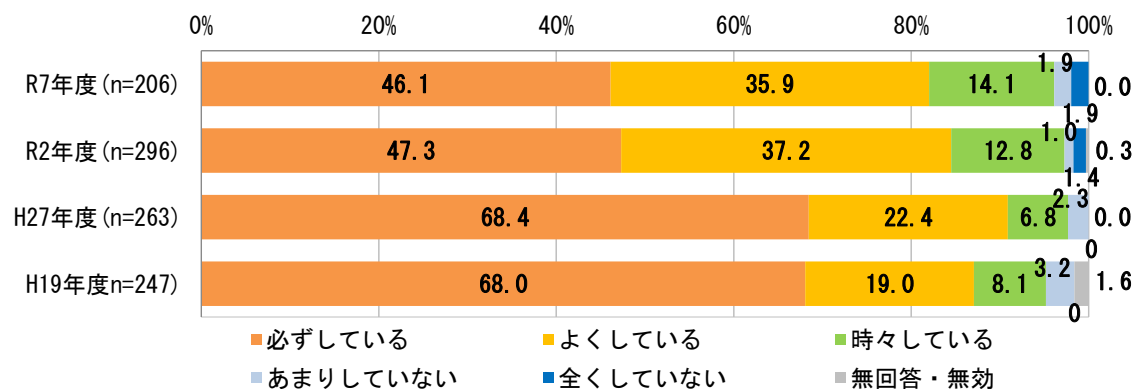


図 44 食事の際のあいさつ (幼児) 結果推移

問6 お子さんは、ゆっくりよくかんで食べていますか。(SA)

子どもが「ゆっくりよく噛んで食べている」「どちらかといえば、ゆっくりよく噛んで食べている」と回答した人の割合は70.9%で、前回調査から3.1ポイント減少した。

<単数回答>

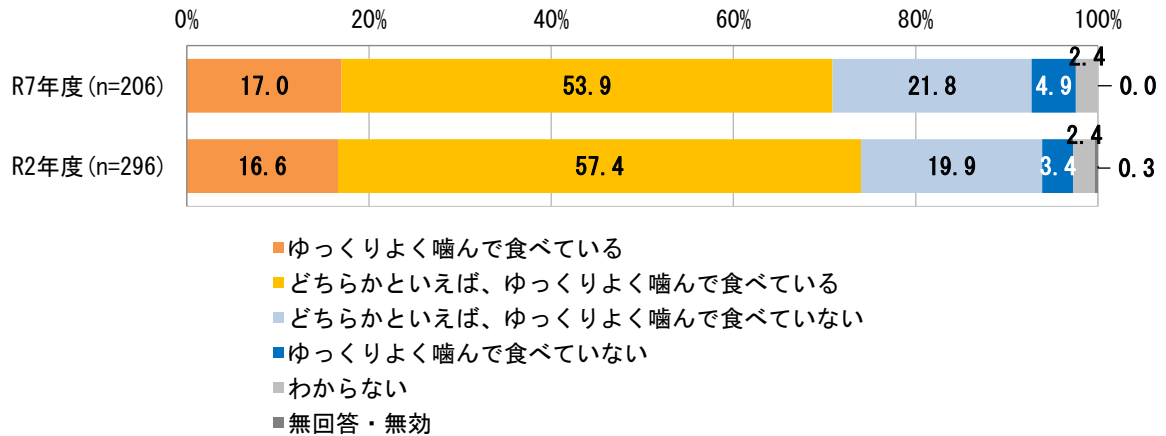


図45 ゆっくりよくかんで食べているか 結果推移

問7. お子さんの食生活に関して、何か心配ごとはありませんか。(MA)

子どもの食生活上の心配ごととして最も多かったのは「むら食いがある」(35.9%)、次いで「間食(おやつ)が多い」(33.5%)であった。

<複数回答>

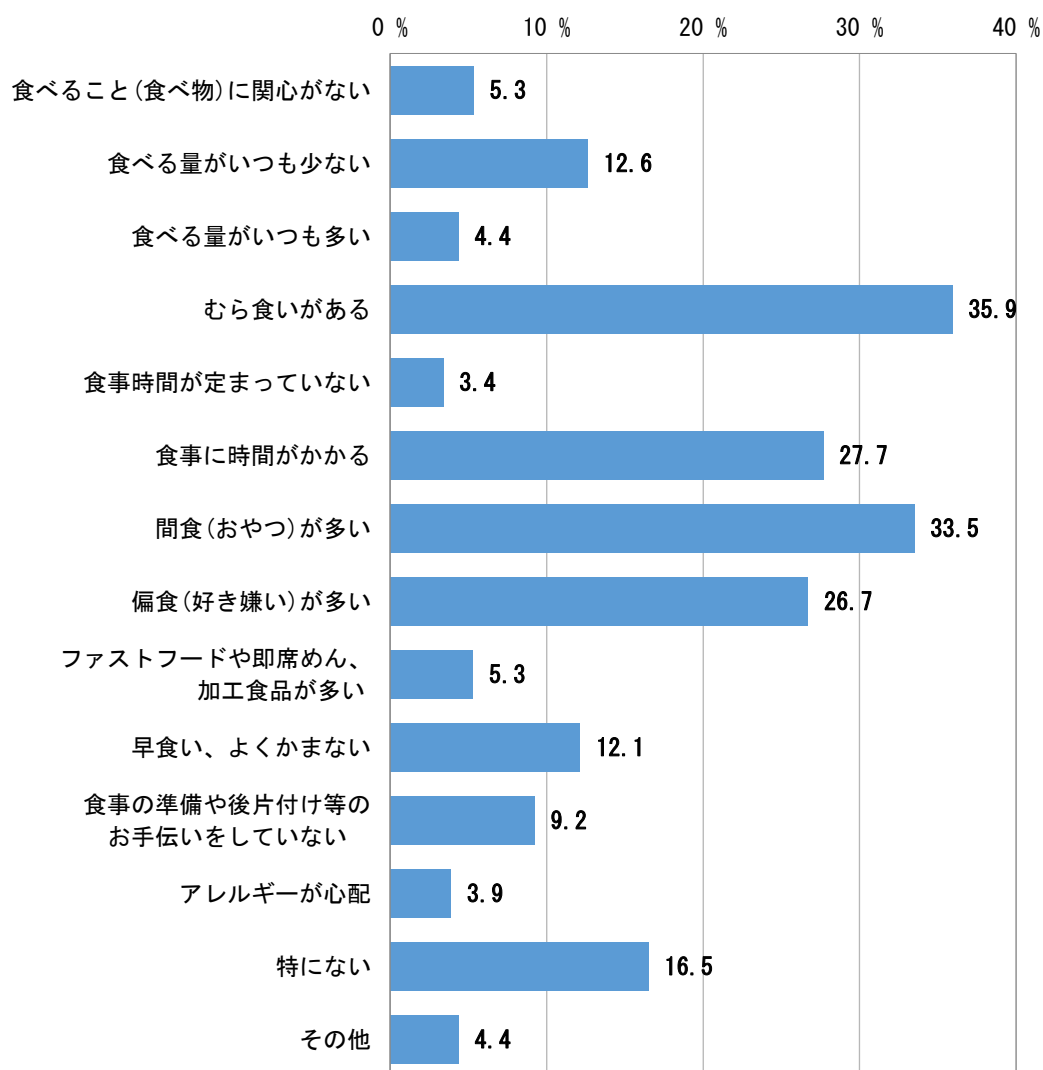


図46 子ども食生活上の心配ごと (n=206)

3. 子どもの生活について

問 8 お子さんは、平日の夜は何時頃に寝ることが多いですか。（SA）

平日夜の就寝時刻は、「午後 9 時台」と回答した人の割合は 48.1%と最も割合が高く、就寝時刻が午後 10 時以降である子どもは 19.4%で前回調査から 2.1 ポイント増加した。

<単数回答>

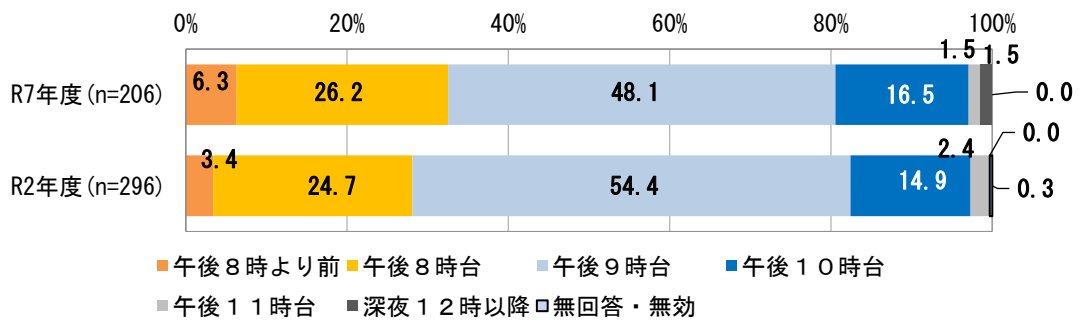


図 47 子どもの平日就寝時刻 結果推移

問 9 お子さんは、平日の朝はだいたい何時に起きますか。（SA）

平日朝の起床時刻は、「午前 6 時台」と回答した人の割合が 49.0%と最も高かった。起床時刻が午前 8 時以降である子どもは 4.4%であり 4.7%であり、0.3 ポイント減少した。

<単数回答>

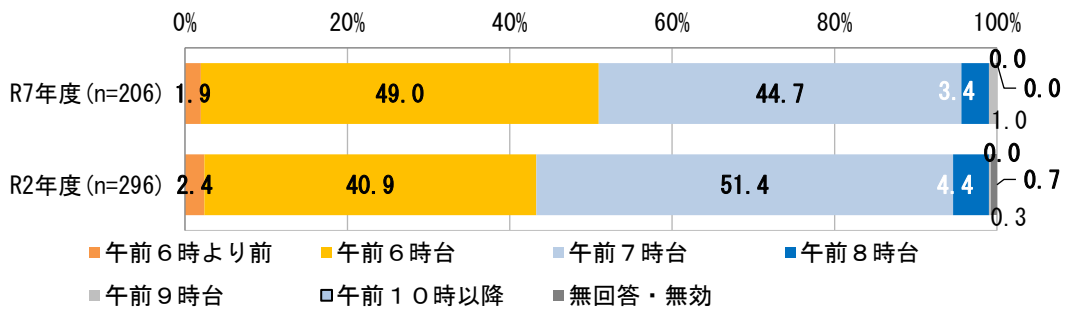


図 48 子どもの平日起床時刻 全国調査との比較

4. 「食育」について

問 10 あなた（保護者）は「食育」に関心がありますか。（SA）

食育に「関心がある」または「どちらかといえば関心がある」と回答した人の割合は88.3%で、初回調査時から大きな変化は見られなかった。

<単数回答>

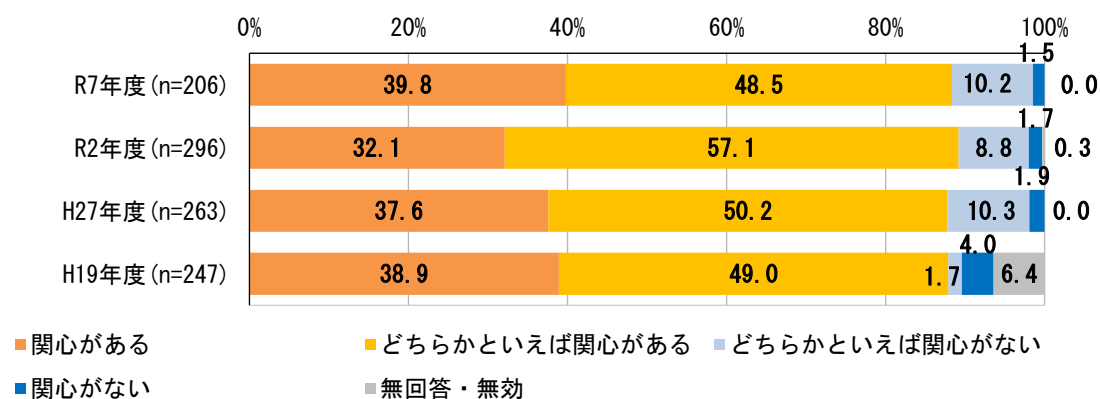


図 49 「食育」への関心度 結果推移

問 11 あなた（保護者）の家庭では、お子さんの食生活に関して、どのようなことを教えていますか。（MA）

子どもに教えている事として最も多くの人を選択した項目は「食べるときのあいさつ」（71.4%）、「食べるときの姿勢」（71.4%）、「残さず食べること」（68.9%）であった。経年推移については、いずれも減少がみられる。

<複数回答>

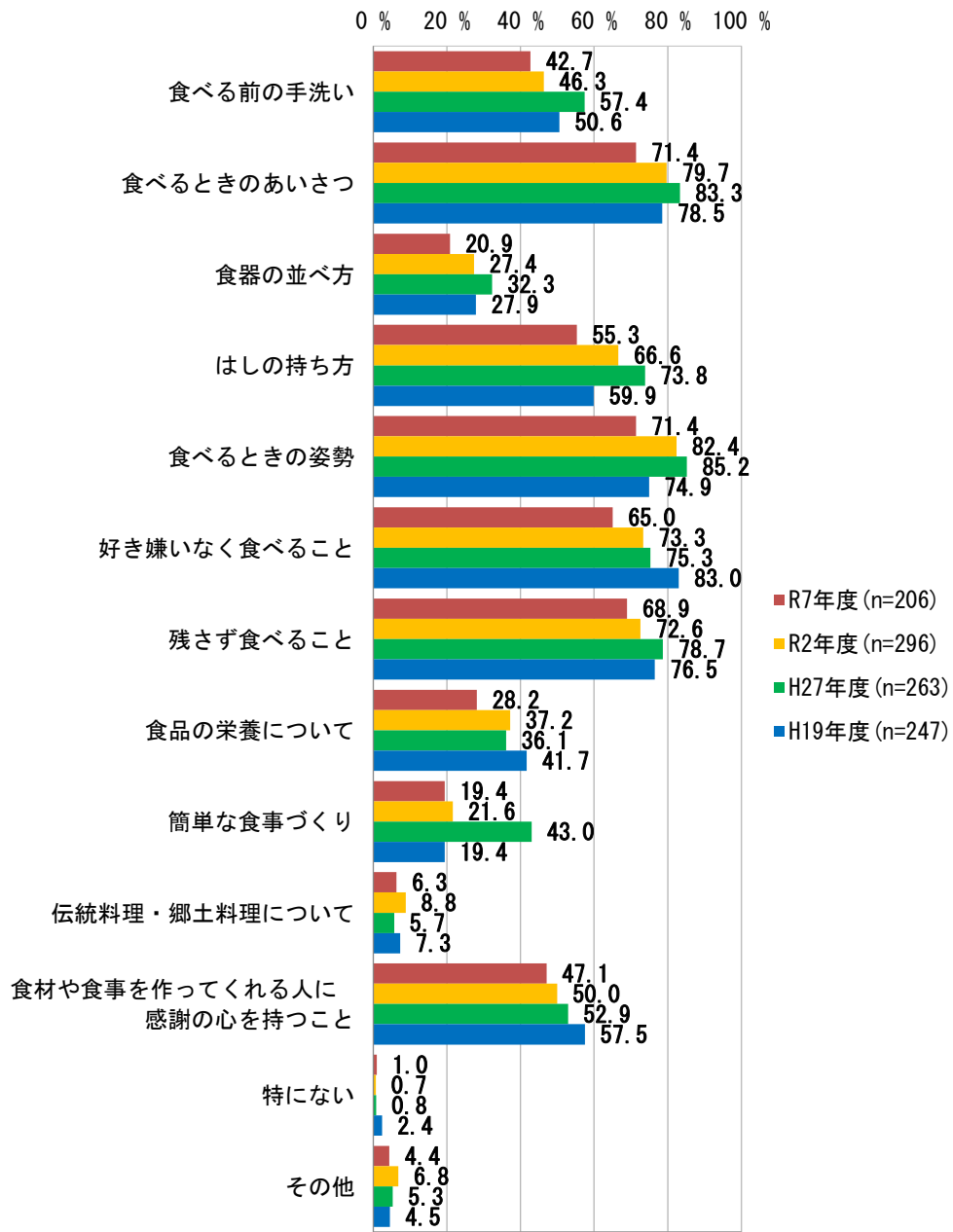


図 50 食生活に関して子どもに教えていること 結果推移

問 12 あなた（保護者）が、家庭以外での「食育」で力を入れて欲しいと思うことは何ですか。（3MA）

最も多くの人を選択した項目は「食事のマナー」（54.4%）、「バランスの良い食事の仕方」（51.0%）「自然の恵みや作り手への感謝の気持ち」（48.1%）である。前回調査と比べて、「農業や漁業体験」は2.8ポイント増加していた。

<複数回答>

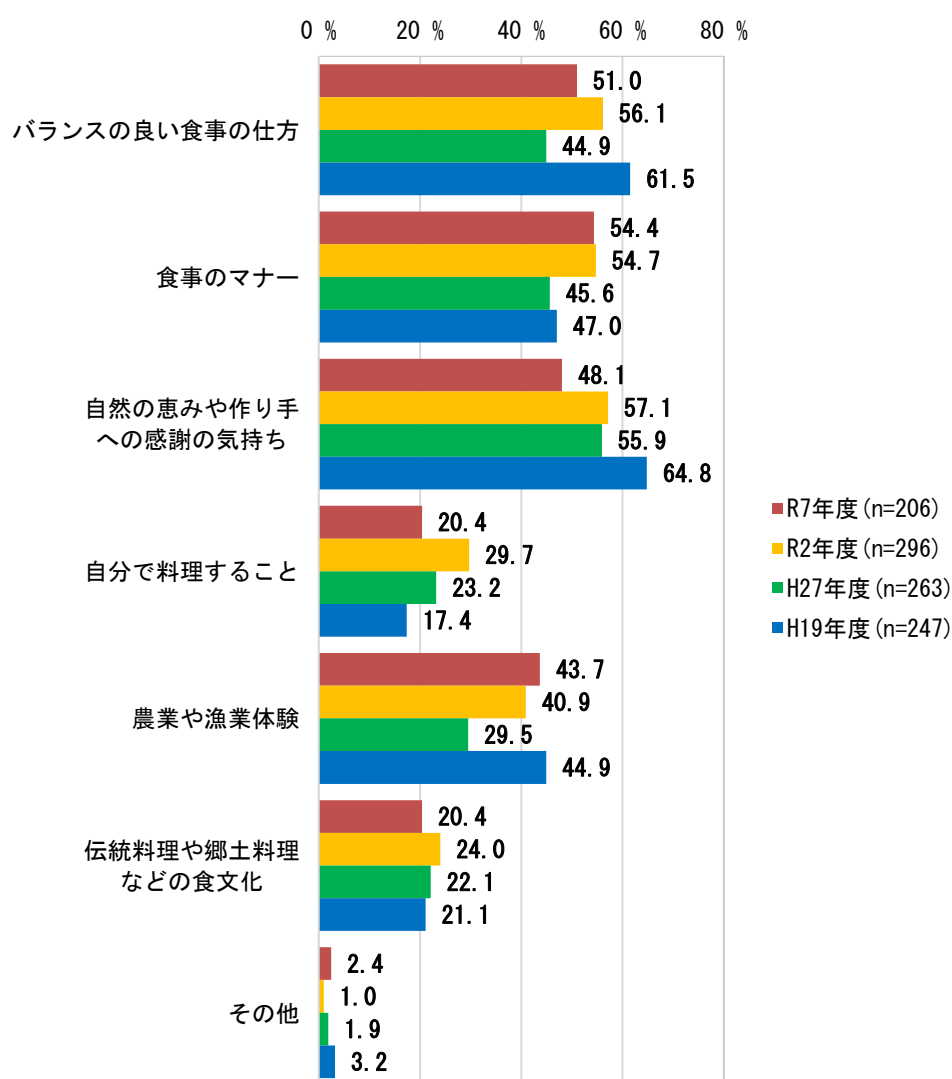


図 51 家庭以外での「食育」として力を入れて欲しいこと 結果推移

問 13 あなた（保護者）は、伝統料理や郷土料理について知っていますか。
（SA）

伝統料理や郷土料理の認知について「はい」と回答した人の割合は80.6%で、前回調査からほとんど変化しなかった。

<単数回答>

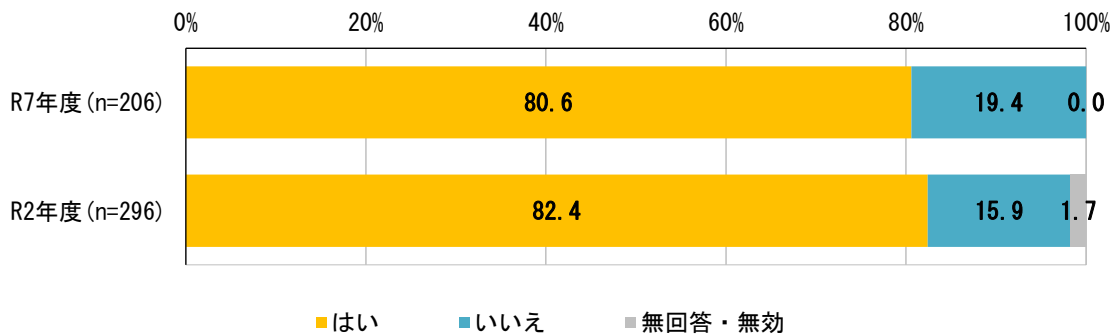


図 52 伝統料理や郷土料理の認知度 結果推移

5. 保護者の食生活について

問 14 あなた（保護者）は、朝食を食べていますか。（SA）

保護者のうち「朝食をほぼ毎日」食べている人の割合は81.6%で、週に1日以上欠食する者は、18.5%であった。

<単数回答>

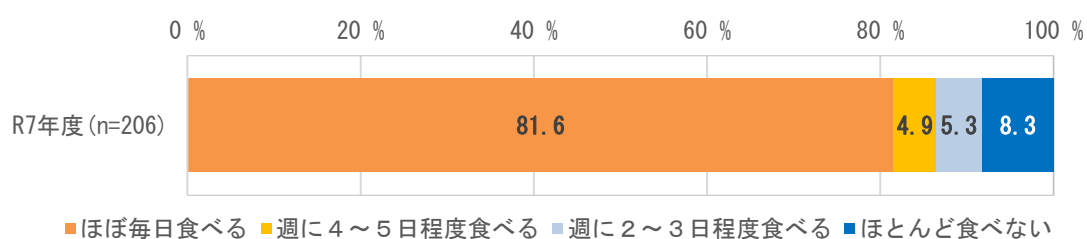


図 53 朝食摂取状況（保護者）

（問 14 で「ほぼ毎日食べる」以外を選んだ人に）

問 14-1 あなたが（保護者）が朝食を食べない最も大きな理由は何ですか。（SA）

朝食を食べない理由として最も多かったのは「時間がない」（19名）であった。次いで「以前から食べる習慣がない」（6名）、「食欲がない」（5名）が理由として多かった。

<単数回答>

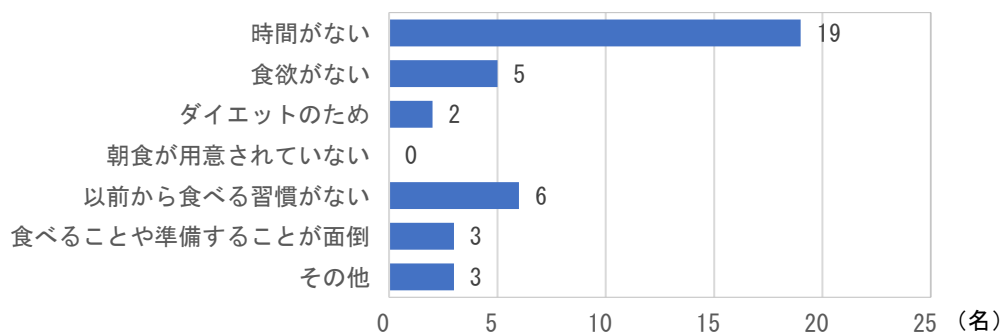


図 54 朝食を欠食する理由（保護者）

問 15 あなた（保護者）は、食事が楽しいですか。（SA）

保護者のうち「食事が楽しい」人の割合は 85.0%で、「楽しくない」は 4%であった。

<単数回答>

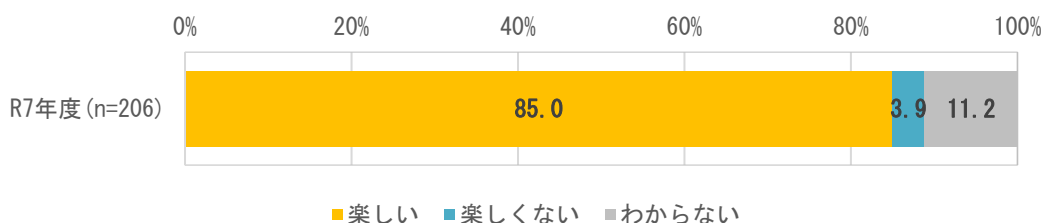


図 55 食事が楽しいか（保護者）

問 16 あなた（保護者）は、食事の際に「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしていますか。（SA）

保護者のうち、食事のあいさつを「必ずしている」「よくしている」人の割合は 83.9%で、「あまりしていない」「全くしていない」は 6.4%であった。

<単数回答>

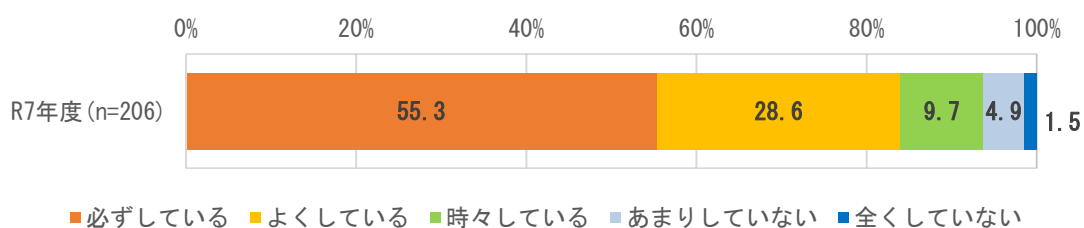


図 56 食事の挨拶状況（保護者）

問 17 あなた（保護者）は、ゆっくりよくかんで食べていますか。（SA）

「ゆっくりよくかんで食べている」「どちらかといえば、よくかんで食べている」人の割合は48.6%であった。

<単数回答>

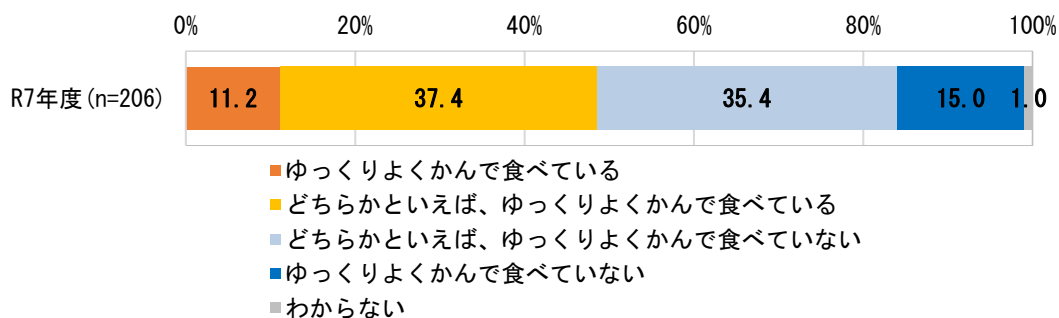


図 57 ゆっくりよくかんでいるか（保護者）

問 18 あなた（保護者）は、主食（ご飯・パン・めん等）・主菜（肉・魚・卵・大豆製品等を使ったメインの料理）・副菜（野菜・きのこ・いも・海藻等を使った小鉢、小皿の料理）を3つそろえて食べることが1日2回以上あるのは、週に何日ありますか。（SA）

主食・主菜・副菜を3つそろえて食べていることが1日2回以上ある日が週に「ほぼ毎日」である人は36.4%であった。

<単数回答>

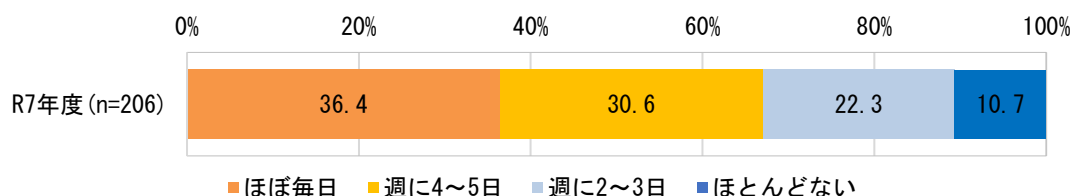


図 58 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の摂取頻度（保護者）

問 19 あなた（保護者）は、毎日野菜を何皿（品）程度食べていますか。（SA）

野菜を毎日「5皿以上」食べている人は3.9%で、「3～4皿」は29.6%であった。

<単数回答>

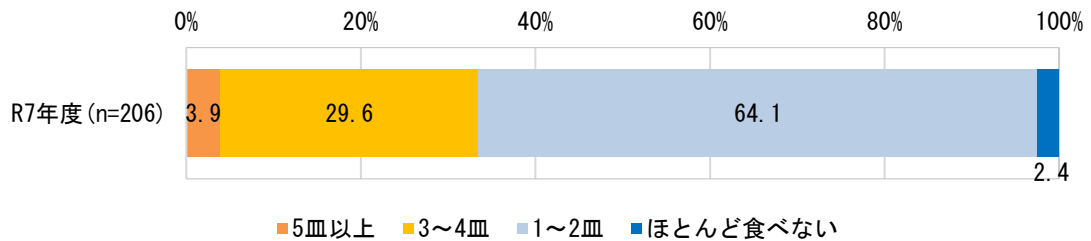


図 59 野菜料理の摂取頻度（保護者）

問 20 あなた（保護者）は、生活習慣病予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持に気をつけた食生活を実践していますか。（SA）

適正体重の維持に気をつけた食生活の実践について、「いつも気をつけて実践している」「気をつけて実践している」と回答した人は、51.9%であった。

<単数回答>

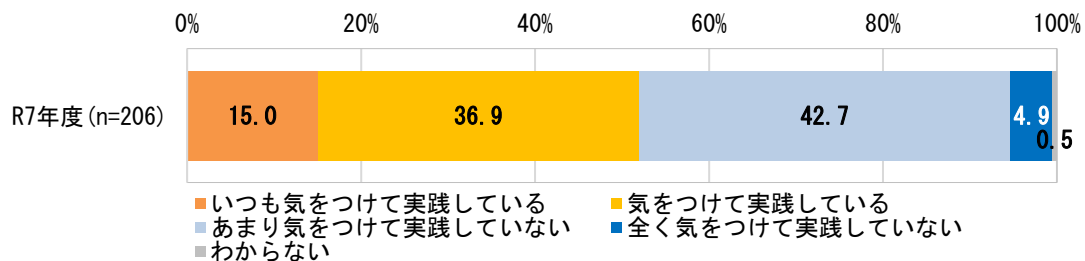


図 60 適正体重の維持に気をつけた食生活の実践度（保護者）

問 21 あなた（保護者）は、ふだんから減塩に気をつけた食生活を実践していますか。（SA）

減塩に気をつけた食生活の実践について、「いつも気をつけて実践している」「気をつけて実践している」と回答した人は、41.8%であった。

<単数回答>

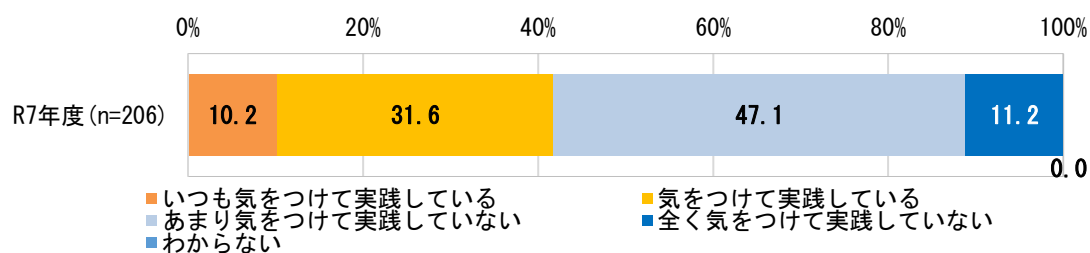


図 61 減塩に気をつけた食生活の実践度（保護者）

（問 21 で「いつも気をつけて実践している」「気をつけて実践している」を選んだ人に）

問 21-1 具体的にどのようなことに気をつけていますか。（MA）

減塩に関する具体的な取り組みは、「野菜をしっかりとるようにしている」が最も多く（62.8%）、「だしを利用したり、調味料を少な目に使う」（57.0%）、「味の濃い加工食品、塩鮭、練り製品、肉加工品（ハム、ソーセージ等）を使い過ぎない」「めん類の汁はできるだけ残している」、「具だくさんの汁物にしている」（55.8%）で、半数以上の保護者が取り組んでいた。

<複数回答>

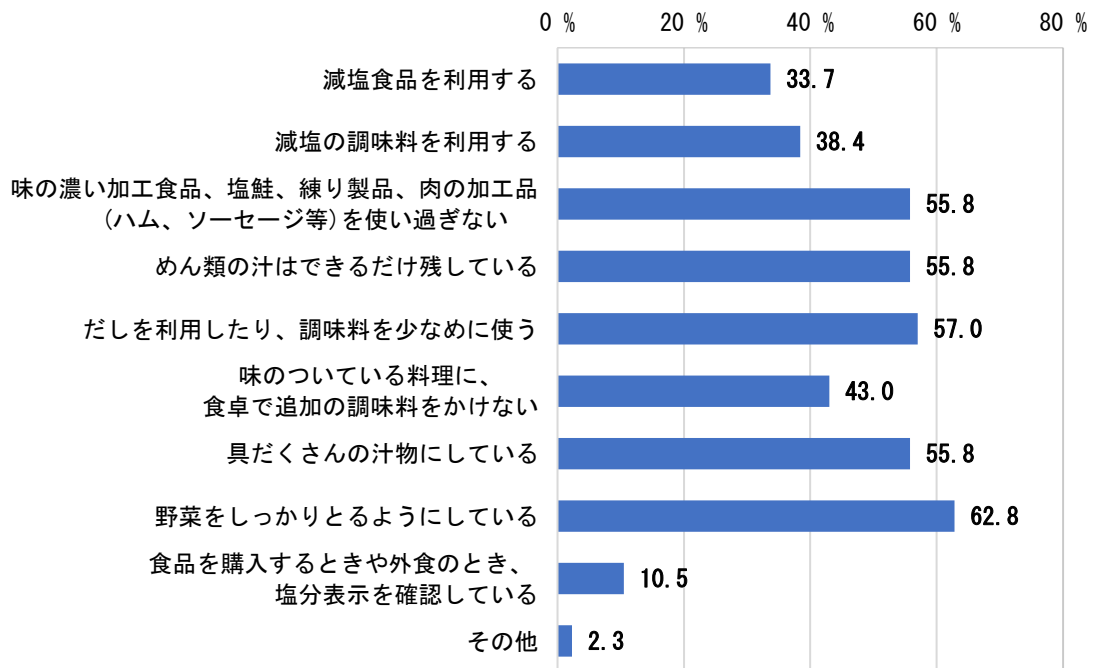


図 62 減塩に取り組んでいる内容（保護者）（n=86）

問 22 あなた（保護者）の世帯では、過去 1 年間に、家族が必要とする食料（菓子等の嗜好品は除く）を経済的な理由で購入できないことがありましたか。
 (SA)

経済的な理由で食料が購入できないことが「あった」と回答した人の割合は 17.0% だった。

<単数回答>

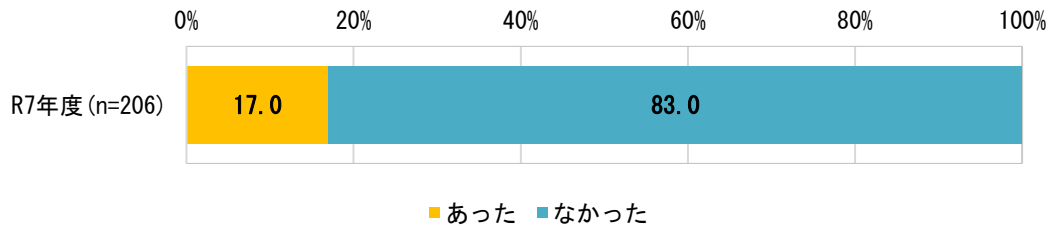


図 63 過去 1 年間に経済的理由で食料を購入できなかった経験（保護者）

問 23. あなた（保護者）は、フードバンクがあれば利用したいと思いますか。
(SA)

フードバンクを「利用したい」と回答した人の割合は44.2%で、利用に関して「わからない」は39.3%であった。

<単数回答>

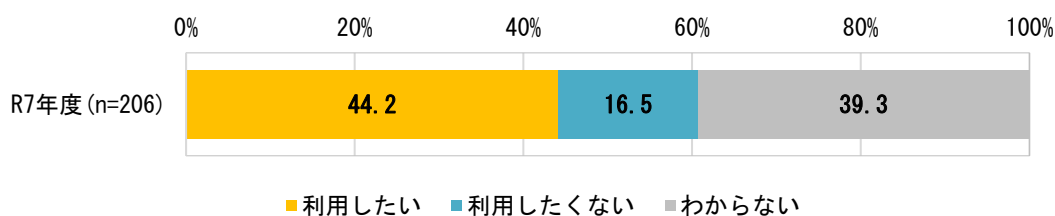


図 64 フードバンクの利用意思（保護者）

問 24. あなた（保護者）は、子ども食堂のような無料または低価格で食事をとることができる場所や地域での食事回答の機会があれば利用したいと思いますか。（SA）

子ども食堂のような無料や低価格の食事の場を「利用したい」と回答した人の割合は44.7%で、利用に関して「わからない」は38.4%であった。。

<単数回答>

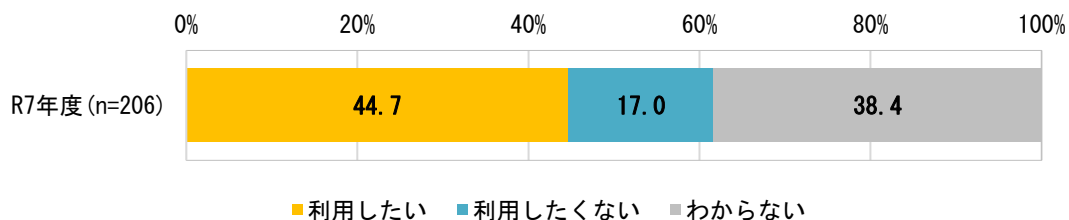


図 65 子ども食堂等の無料・低価格な食事の場の利用意思（保護者）

6. その他

※問 25 年齢、問 26 就園状況、問 27 保護者の性別、問 28 保護者の年齢、問 29 住所（小学校校区）、問 30 家族構成、問 31 職業は、1. 対象者の属性に結果を掲載した。

問 32. あなた（保護者）の暮らし向きはいかがですか。（SA）

回答者の暮らし向きは、「ゆとりがある」「ややゆとりがある」と回答した人の割合は、36.9%であった。「ゆとりがない」「まったくゆとりがない」は 34.0%であった。

<単数回答>

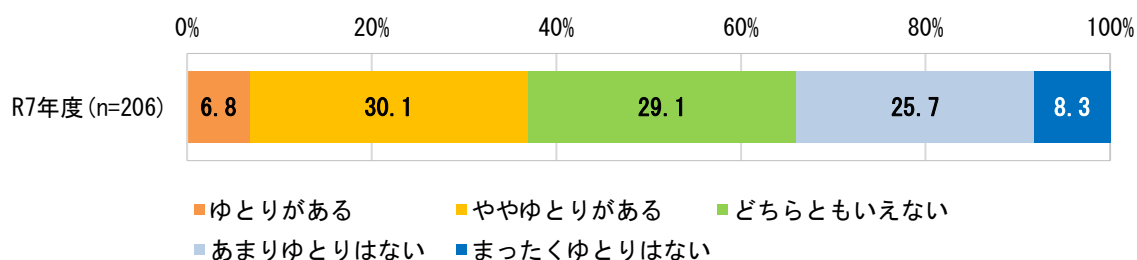


図 66 暮らし向き（保護者）

問 33. あなた（保護者）は日々の生活に時間的なゆとりを感じますか。（SA）

回答者の時間的なゆとりは、「時間的なゆとりを感じる」「やや時間的なゆとりを感じる」と回答した人の割合は、24.7%であった。「あまり時間的なゆとりを感じない」「まったく時間的なゆとりを感じない」は56.3%であった。

<単数回答>

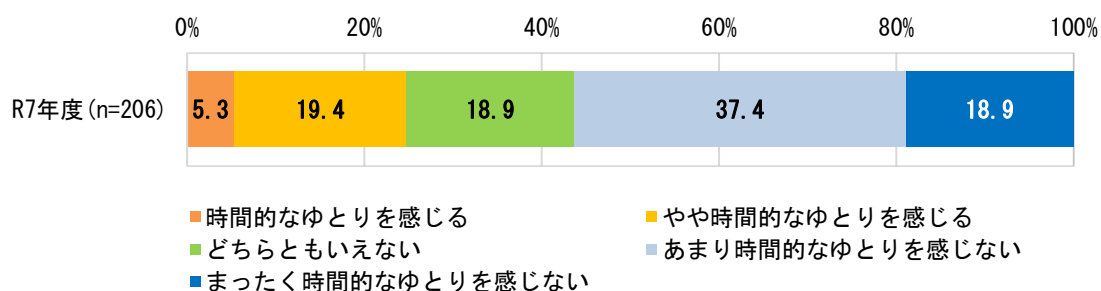


図 67 時間的ゆとり（保護者）

問 34. あなた（保護者）は自分の健康状態について、どのようにお感じですか。（SA）

回答者の健康状態は、「とても良い」「まあ良い」と回答した人の割合は、57.8%であった。「あまり良くない」「良くない」は14.0%であった。

<単数回答>

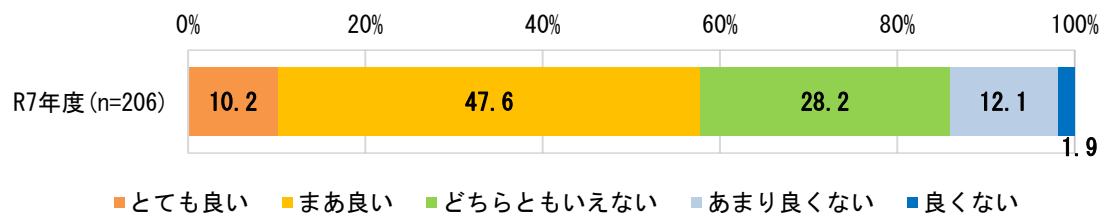


図 68 健康状態（保護者）

問 35. あなた（保護者）ご自身や家庭の日々の生活の中で食育に関することで行っていることがございましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

53 名（25.7%）から自由記載欄に食育の実践内容が寄せられた。

表 6 「食育」の実践に関する自由記載抜粋

料理づくりに関すること
一緒に料理をする
一緒に包丁で野菜を切る(時々)、食器の準備と片付け
一緒にキッチンに立ち、ミニトマトのヘタを取ったり、枝豆を出したりしながら、自分で食べるまでの流れをやったりします。
魚を丸の状態から料理し、命に感謝することや美味しさを教えている
子供の意思で野菜の皮剥きや食器洗いなどを手伝ってもらっている
美味しい喜んでもらえる食事作り頑張ります。
栽培に関すること
家庭菜園(子がしたいと言い出したので)、食事の際の挨拶、食べ物にまつわるクイズ、感謝の気持ち、など
プランターで野菜を育てて食べる
庭の畑で野菜をつくる、子どもたちに水やり、収穫など一部分だけでもお願いします。
苦手な野菜を育てて収穫させる
家族みんなでトマトの苗を植えて育てている
野菜と一緒に育てる、捌く前に魚を観察する
野菜がどうやって出来るか話したり、作り方を教えたりしてます。
生ゴミコンポスト、プランターで稲栽培
食べ方に関すること
外食は極力せず、家で作って食べる。苦手なものも、一口は挑戦させる。味覚の成長を褒める。採って食べる楽しさを知る。
いただきますとごちそうさまでしたを言う事。
テレビやタブレットを見ないで食べる
食物の栄養が自分の体にどうプラスに働くかをしっかり説明している。苦手なものでも一口は食べる事。調理法を工夫して食べられたら誉めること。
最後まで食べること。嫌いと苦手を分けて考えること。
孤食をさせない
好き嫌いをなく食べるように推進している
ご飯を美味しく食べるため、できるだけ身体を動かす。
外食に頼りすぎない。
食べ残しはしない！
家族で話をしながら楽しく食事をする
食事のマナーについては、本人が楽しく食べることはもちろんだけど、一緒に食べている人が不快にならないように食べなさいと伝えています。
また、出されたものは苦手でも、一口食べるようにしています。
苦手は仕方ないですが、嫌いにならないように味付けや量を気をつけています。
食材選びに関すること
お惣菜 レトルト などの作られているものや、予め味が作られているものは出来る限り利用しません。また選ぶ時は国産であること 食費添加物の表示を確認して選びます
添加物をできるだけ避けるよう、(商品の裏を見てカタカナが多いものは避ける)教えている。
無添加のものを選ぶようにしている
人工調味料(味の素など)を使ったとしてもおいしいものを食べてほしいと思う

無添加やオーガニックを意識している
天然素材を使う[調味料などは特に]。地産地消。作物を作ってくれる人に感謝すること。
できるだけ福津の野菜を使う
初物は必ず子どもにあたえ、珍しい食材(ラディッシュやおかワカメなど)を積極的に食卓にあげるようにしている
食品・栄養の摂り方に関すること
極力調味料は使わない、食品購入時は成分表を見ている、簡単にお菓子は買わない、バランス良い食事
小麦粉、植物油、乳製品、甘い物を可能なら限り控えるようにしている。
お菓子で砂糖を摂取するので、料理は甘酒で砂糖の代用をしている。
なるべくいろんな野菜を使う。
食材に含まれる栄養を教える

問 36. 「食育」の推進に関するご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

18 歳以上の市民では、32 名（9.5%）から自由記載欄に「食育」の推進に関する意見が寄せられた。

表 7 「食育」の推進に関する自由記載抜粋

学校給食・教育に関すること
学校の給食を充実させてほしい。
質素な給食が話題になっていましたが、1日でもそんな給食の日があって欲しくないと思います。
給食の食材をできるだけ地産地消にしてほしい
市長が前におっしゃっていた給食のオーガニック化、ぜひ進めてほしいです！ また、福岡南小は児童の人数過多で、給食の内容がどうしても限られてしまうので、何か改善できる方法があったらいいなと思います。
学校給食のオーガニック化と無償化で安心してしっかり食べられる環境を作ってほしい。また、農家さんへ有機農法や無農薬の支援をしてほしい。
無農薬など体に良いものを食べさせたいが、そういった食材は高くても安い食材ばかりになる。学校や地域で食育するならば、やはり添加物の影響など考えた学習がいいと思う。
ご飯作ることがしんどいので月1回土日祝とかに小学校で給食とか提供してもらって食べたいです。親は楽ができるし、小学校がどんどころかわかっておもしろそう。
小学校、中学校での給食が子供達の体をしっかり作り、おいしく、量も十分なものになりますように。福津市の給食って凄いなって全国でも言われるようなものになってほしいです。
小中学校の給食で栄養や種類の充実
体験型食育に関すること
6ヶ月検診の時に離乳食教室でだしの味を実際に試食してうまみについて教えていただいたことがすごくよかったと感じたのでこれからも続けていただきたいなと思いました。
芋掘りやいちご狩りはよく見かけるが、田植えや収穫などの米に関することを経験させ、米の大事さを伝えたい。
とても大切なことだと思います。 農業体験などにも参加したいのですが、なかなか都合がつかず参加できていません。いつの日か参加したいので、郷育カレッジや郷づくりのイベントでも続いてほしいです。
味噌作りなどを子どもとできる機会があれば是非利用したいです。
子供が食事を楽しめると思うキッカケになるイベントがあったら是非参加したいです。

毎日必要な栄養をどれだけとったら良いのか気になります。また、料理を学びたいです。
野菜の可食部について子供と参加できる企画
子どもと一緒に料理ができるイベントが欲しい
子供達は料理をしてみる機会が多いと良いと思う。特に魚料理はハードルが高いので、触れる機会があると良いです。
問題に感じること・要望
大人より子供が心配
物価高なのでなにもできません。
食育も何もこの物価高で、それどころじゃないです。
こども食堂作って下さい。昼も夜も働いていて、疲弊して作る余裕や買う時間もないです。食事がカップラーメンの時もあります。経済的にも共働きですが給料も上がらず困窮しています。野菜はもやしと小松菜しか買えません。あとは豆腐です。お肉は牛肉は児童手当がもらえる月しか買えません。子供がご飯にのりも付けてと言うのですが、高く買えなくなりました。子供には高く買えない。といつも言っています。
食育も含め、これだけ福津市には子育て世帯が増えてきているのですから、もっと手厚い支援をお願いしたいです。 子どもの人数に応じた支援をお願いしたいです。
たまに極端な食思考(動物性タンパク質完全除去、過度な自然嗜好)を正義のように語る団体がいるので、市はきちんと精査するようにしてほしいです。
食育=食べてはいけないものや栄養素の表などのイメージです。昔に比べて良くも悪くも加工した商品は増え、ゆったり献立や料理なんてできないほど圧倒的に時間は減っています。添加物、糖分、塩分などから始まっても「分かっているけど」と興味を持たない。恥ずかしながら、最近、たった3回の食事で自分の体に何をチャージしてあげれば元気に動くのか。と思い、不要なもの、必要なものについてイメージできるようになりました。 選び方の視点、考え方のコツをもう少し反映し、生活目線の食育をお願いします。食育という言葉自体、もっと柔らかく未来にいいことがあるようなワクワクできる教育分野になったらいいなと思います。